

宮城県林業普及活動情報

2025. 5月号 No. 204

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～11

- たけのこの出荷制限全面解除に向けた取組 (大河原地方振興事務所)
- 大河原産業高等学校農業科学科 1 年生への林業関係PR活動の実施 (大河原地方振興事務所)
- 林業振興関係業務打合せ会を開催 (仙台地方振興事務所)
- 森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開催 (仙台地方振興事務所)
- 大崎市産コシアブラ出荷制限一部解除説明会の開催 (北部地方振興事務所)
- こけし材として使用されるミズキの植栽支援 (北部地方振興事務所)
- 林業種苗生産者への苗木育成指導 (北部地方振興事務所)
- 竹林における放射性物質除去対策の追跡調査 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「みやぎ水産の日販売会」における特用林産物の販売支援 (東部地方振興事務所)
- 「森林病虫害等防除事業（特別防除）担当者打合せ」の開催 (東部地方振興事務所)
- 登米市の水源とワサビ体験学習支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- コンテナ苗木の植樹体験学習支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 登米市市制施行20周年・第48回全国育樹祭記念行事「市民参加の新たな森林づくり」植樹祭の開催 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- ドローンの基本操作研修会を開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 気仙沼市産メンマづくり体験会を開催 (気仙沼地方振興事務所)
- 学校法人尚絅学院大学里山再生プロジェクトへの支援 (林業技術総合センター)
- 森林施業プランナー養成研修を開催 (林業技術総合センター)
- 第53回全国後継者大会及び第75回全国植樹祭に参加 (林業技術総合センター)
- 令和7年度第62回林業教室を開講 (林業技術総合センター)

たけのこの出荷制限全面解除に向けた取組

大河原地方振興事務所

【14日(水)・15日(木)】

丸森町の「たけのこ」について、今シーズンも生産者及び町等と連携し、適時適切に出荷前及び定期検査を実施しながら、安心安全なたけのこの出荷に取り組んでいます。また、丸森町の3地区については、全量スクリーニング検査を実施した上で出荷していますが、全面解除に向け、生産者との情報交換を行いながら、たけのこ採取とモニタリング調査を実施しました。今後、検体の放射能濃度結果を踏まえ、出荷制限の全面解除に向け、関係機関との協議や、生産者に対し各種情報提供を行うなど、丸森町と連携してたけのこ生産の支援を継続していきます。



【たけのこ掘取の様子】

大河原産業高等学校農業科学科1年生への林業関係PR活動の実施

大河原地方振興事務所

【20日(火)】

県内で唯一林業関係科を有する同校の農業科学科1年生80名を対象とし、2年生での林業の専攻を促すため、森林・林業に関する魅力等を伝え、興味・関心を持ってもらえるようにPR活動を実施しました。管内で伐採、再造林、製材、住宅建築を一貫して行う坂元植林株式会社のモデルハウス内で同社職員による森林・林業の魅力や機能、関係する仕事についての講話を実施するとともに、同社で働く同校の前身である柴田農林高等学校の卒業生から日頃の業務や志望動機などについて説明をいただきました。

実施後のアンケートでは林業に興味を持ったと回答した学生が半数ほどいたことから、効果があったのではないかと考えられました。一方で、内容が難しいと回答する生徒もいたため、今後はより理解しやすい内容での実施を検討していく必要があると感じました。



【PR活動の様子】

林業振興関係業務打合せ会を開催

仙台地方振興事務所

【14(水)】

管内市町村の林務担当者及び森林組合、林業事業体等を対象に今年度事業の業務打合せ会を開催しました。

打合せ会では、森林整備関係の補助事業や森林病虫害等防除事業等の概要、労働力関係や森林計画関係、木材利用の推進について説明しました。

打合せ会を通して、市町村及び事業体に対しては、各事業概要や各補助事業を実施する上での今年度の変更点・留意点等を説明し、理解を深めてもらいました。また、市町村に対しては、森林計画制度や木材利用の推進において、市町村支援を行う旨説明し、理解を得てもらいました。

引き続き、各業務の支援を実施します。



【打合せ会の様子】

森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開催

仙台地方振興事務所

【14日(水)】

森林経営管理制度の取組を推進するため、仙台圏域推進会議を開催しました。本制度の進め方について説明するとともに、各市町村の取組状況について共有し、市町村支援について重点的に情報提供しました。

管内市町村における森林経営管理制度の進捗状況と森林環境譲与税の使途について共有することで、制度推進に向けた意欲の向上が図られました。サポートセンターからは実践研修について、森林組合からは制度推進に向けた相談対応の状況について説明頂き、加えて管内でも進捗している自治体から事例報告を頂きました。

年度初めに開催することで、市町村に対し森林整備に係る動機付けを図ることができました。



【仙台圏推進会議の様子】

大崎市産コシアブラ出荷制限一部解除説明会の開催

北部地方振興事務所

【1日(木)】

4月25日(金)に厚生労働省から発出された「コシアブラ」の出荷制限指示一部解除を受け、販売を希望する採取者及び直売所担当者向けに出荷管理の概要と検査体制の仕組みについて説明を行いました。

その後、採取・出荷者登録申請書の受付をし、16名の申請書を受理しました。

今後は、登録の完了を受けて、非破壊検査機で測定し、安全性が確認されたコシアブラの販売が可能となります。今後、全量検査を進めつつ、万が一基準値超えの検体があった場合は、即時回収して精密検査を実施することで、安全・安心な山菜類の供給を確保していきます。



【参加者へ説明】



【申請書の受付】

こけし材として使用されるミズキの植栽支援

北部地方振興事務所

【21日(水)】

鳴子木地玩具協同組合が苗畑生産者から譲り受けたミズキ苗のうち50本を大崎市市有林内に植栽することとなり、現地にて植穴掘付から添木あてまでの植栽方法を指導しました。

参加者は15名程でしたが、切り株から距離を保ちつつ植栽位置を決める必要があったため、思いのほか時間がかかりました。

植栽完了後は、中山平地区でミズキ群生箇所の生育状況を確認し、今後の伐採・収穫に向けて検討しました。



【ミズキ植栽の実演中】

林業種苗生産者への苗木育成指導

北部地方振興事務所

【13日(火)】

苗木の育成場所が社屋そばであることから、乾燥を防ぐよう水管理を徹底するよう生産者に指導しました。昨年度コンテナ苗に直挿したヤナギや今春播種したスギの発芽具合を確認しました。

ヤナギ採穂地は県内のほか、北海道から取り寄せたものも含まれていましたが、生長具合に大きな差は感じられませんでした。

今後も、健全な苗の育成に向けて、必要な指導をするとともに、特にヤナギの造林適否を検討していきます。



【苗木育成に係る指導】

竹林における放射性物質除去対策の追跡調査

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【2日(金)・16日(金)】

栗原市の一部の地区においては、福島第一原発事故による放射性物質汚染の影響によりタケノコの出荷制限が続いています。

当事務所ではそのような地区の出荷制限解除に向け、竹林の間伐及び土壌中の放射性物質を吸い上げたであろう間伐材（竹）の除去を行うことで、その後に産出されるタケノコの放射性物質が低減できないか実証するため、研究に取り組んできました。

今年度も昨年3月に実施した間伐の効果を検証するため、対象竹林に設定した試験区画（プロット）毎にタケノコを採取し、放射性物質濃度測定を行いました。

試験地を提供していただいた竹林所有者の方々の関心は高く、測定結果を報告書として取りまとめの上、説明する予定です。



【プロット別にタケノコ検体を採取し、検査機関に測定を依頼します】

「みやぎ水産の日販売会」における特用林産物の販売支援

東部地方振興事務所

【21日(水)】

当合同庁舎 1 階ロビーにおいて実施されている「みやぎ水産の日」地域のちいさな販売会において、管内で生産された原木しいたけの販売支援を行いました。

当日は、生しいたけ及び乾しいたけを販売し、ほぼ完売となり大変好評でした。来訪者に対しては、しいたけの調理方法等を説明するなど、きのこについてPRし、普及を図りました。

引き続き、同販売会（毎月 1 回開催）において、特用林産物の販売支援を行うなど、管内の特用林産物の販路拡大に向けて取り組んでいきます。



【販売会の様子】

「森林病虫害等防除事業（特別防除）担当者打合せ」の開催

東部地方振興事務所

【23日(金)】

森林病虫害等防除事業（特別防除）の円滑な実施に向けて、関係機関（市町、業務受託者）と担当者打合せを行い、実施日の担当業務や進行スケジュール等の確認を行いました。

打合せでは、ヘリコプターによる薬剤空中散布に伴う、前日から当日の従事者の各担当業務内容や、進行スケジュールを確認するとともに、連絡体制等の点検を行いました。また、各市町へは、地元住民等への十分な周知など、安全で円滑な業務遂行をお願いしました。



【打合せの様子】

登米市の水源とワサビ体験学習支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【21日(水)】

林業後継者の育成を目的として、津山町林業研究会が津山小学校児童（4年生11名）を対象に実施している林業体験学習（ワサビ栽培体験）の活動を支援しました。

学習では、市内津山地区の簡易水道施設の見学をした後、当所から水と森林の関わり（水源涵養機能や森林施業（間伐）の重要性）について説明を行い、ワサビ栽培に必要な水源がどのように守られているか、参加児童全員で考えました。



【ワサビ田の見学】

【水と森林の関わりに関する講話】

コンテナ苗木の植樹体験学習支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【13日(火)】

林業後継者の育成を目的として、津山町林業研究会が津山小学校児童（5年生13名）を対象に実施している林業体験学習（少花粉スギのコンテナ苗木植樹体験）の活動を支援しました。

当所からは、花粉の少ないスギ苗木（少花粉スギ）の生産技術とコンテナ苗による造林について説明を行いました。



【少花粉スギとコンテナ苗の説明】

登米市市制施行20周年・第48回全国育樹祭記念行事「市民参加の新たな森林づくり」植樹祭の開催

東部地方振興事務所登米地域事務所

【25日(日)】

登米市と当所の共催で実施している植樹イベント「市民参加の新たな森林づくり」を開催しました。

今年は市制施行20周年、また10月開催予定の第48回全国育樹祭記念行事として開催し、155名の市民等が参加しました。

参加者は津山町森林組合職員から植栽指導を受けた後、約1,000本のカラマツ苗木を植栽し、森林造成のための植樹の意義について理解を深めていました。

当日は親子連れや幅広い年代の方々が参加し、木育や全国育樹祭の気運醸成に向けて効果的なイベントとなりました。



【参加者全員で記念撮影】



【会場全景】



【記念植樹】

ドローンの基本操作研修会を開催

気仙沼地方振興事務所

【12日(月)】

スマート林業の推進に向けて、ドローンの活用については必要不可欠となっており、宮城県では職員の業務におけるドローンの活用のために、飛行に関する法令等の知識及び基本的な操作に関する内部向けの研修会を開催しています。

そこで、今回、管内のドローン活用事業体を増やしていくために、本研修について外部の事業体に周知を行ったところ、管内森林組合の若手職員1名が本研修会を受講していただきました。

研修を受けて参加者からは、思ったよりも



【座学（活用方法・法令）】

操作は簡単という声も多く寄せられ、活用方法や法令等についても十分理解していただいたようでした。

今後は、野外環境でのドローン活用に係る研修等を企画し、引き続きスマート林業の推進につながるよう取り組んでいきます。



【基本操作】

気仙沼市産メンマづくり体験会を開催

気仙沼地方振興事務所

【16日(金)・26日(月)・27日(火)・28日(水)・29日(木)】

現在、輸入品が大半を占めているメンマについて、使われることの無かった地元の幼竹を原材料とした「気仙沼メンマ」の普及に向けて、気仙沼管内の生産者と一緒に取り組んでいます。

昨年度は、生産者数を増加させることを目的として、これまで気仙沼地区1地域のみで実施してきたメンマづくり生産拠点を、旧本吉地区、南三陸地区（旧志津川）3地区に拡大し、生産量は6.5kgから20kgと約3倍に増産することが出来ました。（乾燥重量）

今年度も、昨年同様に3地区でメンマ作り体験会を開催し、計34名に参加していただきました。また、今年度の体験会では新たな取組として、気仙沼市内の飲食店「旬菜屋KEN」佐藤マスターの協力をいただけることとなり、気仙沼メンマを使用した試食メニュー「①味付けメンマ炒め」・「②国産メンマと彩り肉野菜炒め」・「③国産メンマのセロリ炒め」の3品を体験会で参加者に提供しました。（レシピはHP等で公開予定）

佐藤マスターの軽快なトークと、中華の名店で修業した鍋捌きで参加者からは歓声があがり、気仙沼メンマを使用した本格中華を堪能していただきました。

今後は、発酵作業と鬼門である乾燥作業が残っていますが、全ての生産者が無事に成功できるよう、現地指導していきます。



【気仙沼地区：意見交換会と試食】



【試食メニュー事前打合せ】



【旧本吉地区：下拵え完了】



【試食メニュー：国産メンマと彩り肉野菜炒め】

学校法人尚絅学院大学里山再生プロジェクトへの支援

林業技術総合センター

【10日(土)】

あいにくの雨により、急遽屋内での講話を支援することとなりました。

支援内容は、

①里山の管理方法（パワーポイント 滝澤）

②植生調査の勘所（説話 佐々木）

また、希少種ヒメギフチョウと食草トウゴクサイシンの説明が学院からありましたので、保護に向けて、食草生育地への立ち入り防止柵の設置を提案しました。

良質の成虫標本は、マニア垂涎の的とのことでしたので、心ない採集が行われないことを願います。

最後に、活動内容の判断材料とするためKJ法を用いた要望調査が行われました。参加者からは、希少種の掲載を含めた一般向けパンフレットの作成への要望が多く挙がりました。

次回は、6月14日(土)に林内散策を予定とのことでした。



【パワーポイントによる説明の様子】



【KJ法を用いた要望調査の様様】

森林施業プランナー養成研修を開催

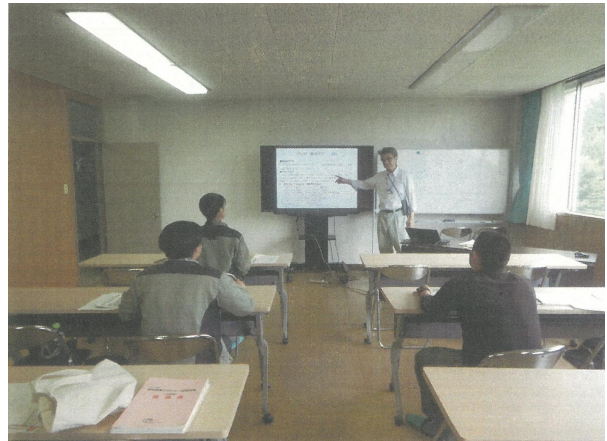
林業技術総合センター

【22日(木)、23日(金)】

当所旧本館会議室において、3名の研修生を得て標記研修会を開催しました。

研修会では、認定森林施業プランナー合格に向け「森林施業プランナーテキスト改訂版」を用いて講義を行いました。また、過去の問題演習のほか、翌日は、栗駒高原森林組合において森林施業プランナーの実務について学びました。

今後も、より多くの森林施業プランナーが誕生するよう、支援を継続します。



【講義の様様】

第53回全国後継者大会及び第75回全国植樹祭に参加

林業技術総合センター

【24日(土)～25日(日)】

埼玉県において第53回全国林業後継者大会及び第75回全国植樹祭が開催されたことから、宮城県林業研究会連絡協議会渥美会長に随行し、情報収集を行いました。

1) 全国林業後継者大会(24日(土))

まず、農林中金の主任研究員から、日本の林業が世界経済の影響下にあるという講話を拝聴するとともに、6事業体のパネラーから、今の若者に対して、物事を丁寧にきちんと教えることの必要性などが発表されました。

2) 全国植樹祭(25日(日))

参加者植樹の後、式典において、オープニングセレモニーと緑化功労者等の表彰が行なわれ、天皇陛下による御植樹・御播種が行われました。

アトラクションは「人・森・川 つながる彩の国」をテーマにボランティアにより実施されました。

「武蔵野は、痩せ地のため開拓民が、落葉樹を植え、落葉を肥料としてすき込み、営農に役立てた。」という知見も得ることができました。

令和8年度は愛媛県で開催となります。



【パネルディスカッションの様子】



【植樹をされる宮城県林業研究会連絡協議会渥美会長】

令和7年度第62回林業教室を開講

林業技術総合センター

【28日(水)】

当所研修棟において標記開講式を実施しました。オリエンテーションでは、受講生に自己紹介いただき親睦を深めていただきました。また、必修講座①では、林業用語の基礎知識と宮城県の森林・林業を学んでいただき、冊子「森林・林業用語の基礎知識」（宮城県林業振興協会提供）と「宮城県民有林材積表及び林分収穫表」を用いて理解の助けといたしました。

午後は、当所研究員が、県の育種・育苗に関する試験研究の成果について実地研修を行いました。



【所長を囲んでの記念撮影】



【採種園の説明】